

第21回「青松賞」懸賞論文審査結果

令和7年12月1日、「青松賞」懸賞論文選考委員会※が開催され、
17件の応募から以下の通りの選考結果となりましたのでお知らせします。

優秀賞 斎藤 知果（人文学部4年）

ポストトゥルース社会において情動といかに向き合うか

坂上 愛美（法学部2年）

分断化する社会と憲法の役割

佐藤 琥太郎（経済科学部3年）

日米の社会的分断構造の比較

奨励賞 稲垣 仁夏（法学部1年）

「政治的分断がもたらす未来に希望はあるか」

栗原 美優（法学部3年）

社会の分断について

鶴石 歩（経済科学部3年）

「分断から共存へ：SNSがもたらす影響と解決へのアプローチ」

渡部 有花（経済科学部3年）

分断化する世界に対して

熊谷 恵佑（経済科学部3年）

冷戦期の二極構造と現代の多極的分断の比較

以上8名

入賞者への表彰のご案内、選外の応募者への記念品贈呈の予定については、メールで皆様に連絡させていただきます。

受賞論文は別刷冊子を作成し希望の方に配布予定です。お申込み等は同窓会事務局まで連絡ください。

今回の審査結果は同窓会HPでも発表予定です。

※選考委員 人文学部長・法学部長・経済科学部長・同窓会長代行・同窓会事務局長 以上5名

（予告）第22回「青松賞」懸賞論文のテーマ・募集要項は令和8年4月以降に発表予定です。
同窓会HPでも発表予定です。

新潟大学人文・法・経済科学部同窓会^{せいしょうかい}（青松会）事務局

メールアドレス dousou@econ.niigata-u.ac.jp

同窓会HP <https://www.niigata-u-jhk.com/>

TEL&FAX 025-262-6297／6429